



G 7 男女共同参画担当大臣会合

1



イタリア政府G7公式サイトより引用

2017年11月
内閣府男女共同参画局

G7 男女共同参画担当大臣会合とは？

2

- ▶ G7男女共同参画担当大臣会合 (The G7 meeting on Gender Equality) はG7サミットに合わせて開催される関係閣僚会合の一つ。
- ▶ G7(日本、アメリカ、イギリス、イタリア、カナダ、ドイツ、フランス) 及びEUの男女共同参画担当大臣が一堂に会し、国際社会が直面する様々な男女共同参画、女性活躍に関する課題について意見交換を行い、コンセンサスを形成。
- ▶ 今回のイタリア・タオルミーナのG7において初めて開催。

イタリアG7男女共同参画担当大臣会合について (各国出席者)

3

- イタリア マリア・エレナ・ボスキ首相府政務次官(男女共同参画担当)
- 日本 山下雄平内閣府大臣政務官
- イギリス ジョアンナ・ローパー ジェンダー平等特使
- フランス マルレーヌ・シアパ首相付 女男平等担当大臣
- カナダ マリアム・モンセフ カナダ女性の地位担当大臣
- アメリカ キャスリン・カウフマン 大統領シニアアドバイザー
- ドイツ カタリーナ・バーレイ連邦家族・高齢者・女性・青少年大臣
- EU ヴェラ・ジュローヴァ 欧州委員(法務・消費者・男女平等担当)



(英)ローパー特使と山下政務官



ワーキングランチ、セッションの会場の様子



各国代表とともに会合に臨む山下政務官

イタリアG7男女共同参画担当大臣会合について (プログラム及び各セッションのテーマ①)

4

▶ 11月15日(水)

・ワーキングランチ

「女性の経済的及び政策的エンパワーメント
:女性の可能性を引き出すための労働市場
と福祉制度の再設計」

Women's economic and political empowerment:

re-designing the labour market and welfare system to unleash female potential

・ワーキングセッション①

「女性の政治的エンパワーメント:女性の政治的意思決定におけるリーダー
シップとハイレベルなポジションへのアクセスを促進するための国内法の再考」

Women's political Empowerment: rethinking the national legislation to foster women's

access to leadership and high-level positions in political decision-making

・公式夕食会



ワーキングランチ、セッションの会場の様子

イタリアG7男女共同参画担当大臣会合について (プログラム及び各セッションのテーマ②)

5

▶ 11月16日(木)

・人身取引被害者支援シェルター視察

暴力・性的人身売買の被害者等、社会的に脆弱な状況にあるイタリア人及び外国人の保護・自立支援を行っている団体を視察

・ワーキングセッション②

「女性に対する暴力の防止と撤廃及び人身取引の撲滅に向けた手段としての女性の経済的エンパワーメント」

Women's economic empowerment as
a tool for preventing and combating
gender-based violence and counteracting
trafficking in human beings

・共同記者会見

8人の政府代表による共同記者会見



共同記者会見の様子

ワーキングランチ (11/15)

Working lunch

6

- ✓ 「女性の経済的及び政策的エンパワーメント:女性の可能性を引き出すための労働市場と福祉制度の再設計」をテーマに議論。
- ✓ 各国政府代表から、男女の賃金格差等の是正のための労働市場の改革や資本市場における女性の信用アクセスの向上、無償労働に対する経済的な評価、男性の育児への参画に向けた取組の促進等の重要性が指摘された。
- ✓ 日本政府代表の山下政務官からは、非正規雇用の処遇改善、男性の働き方改革の必要性等について言及するとともに、女性が就職・結婚・出産等について如何なる選択をしても社会全体で支援するという視点で考える必要がある旨発言した。併せて、現在、日本では、子育てに係る負担を国民全体でどのように分担すべきか、消費税財源か新たな社会保険制度かの大きな議論が行われている旨説明した。

ワーキングセッション① (11/15)

Working Session ①

7

- ✓ 「女性の政治的エンパワーメント:女性の政治的意思決定におけるリーダーシップとハイレベルなポジションへのアクセスを促進するための国内法の再考」をテーマに議論。
- ✓ 各国政府代表よりフランスの取組に関心が寄せられたこともあり、フランスから憲法の改正を始めとするフランスの法制度について説明がなされるとともに、女性の政治参画の拡大に当たってはSNS等における女性に対するヘイトスピーチが課題の一つにあるとの問題提起がなされた。
- ✓ 山下政務官からは、我が国の国会議員に占める女性割合は他のG7各国に比べると低いが、女性の立候補者が少しずつ増え、選挙の度に女性議員の割合も上がるなど、徐々に政治分野における女性の参画が進んでいる旨説明。また、クオータ制の導入については日本でも議論があるが、一方で、慎重な議論が必要との声もあるとの現状を紹介した。

ワーキングセッション② (11/16)

Working Session ②

8

- ▶ 「女性に対する暴力の防止と撤廃及び人身取引の撲滅に向けた手段としての女性の経済的エンパワーメント」をテーマに議論。
- ▶ 各国政府代表からは、NPO等の支援団体との連携や学校教育の充実、労働市場における差別の解消が必要であり、また、インターネットを利用した嫌がらせや脅迫等の解決が急務である旨発言があった。
- ▶ 山下政務官からは、日本の法改正を伴う人身取引の撲滅に向けた施策の現状や被害者への支援策、女性に対する暴力の根絶に向けた取組等について紹介するとともに、日本語が壁となって外国人被害者が声を上げられないといったことがないよう、外国人が多く集まる場等で、多言語で相談窓口を案内している旨説明。併せて、人身取引の問題は、日本では新たな問題であるため、各国の経験を日本に持ち帰り、他のアジア諸国とも共有したい旨発言があった。

共同記者会見 (11/16)

Press Conference

9

- ▶ ボスキ政務次官から、G7の枠組みで初めて男女共同参画担当大臣会合を開催し、経済分野や政治分野での女性のエンパワーメント、女性に対する暴力の防止等について各国と有意義な意見交換を行うことができた旨報告があった。
- ▶ 各国政府代表から、G7初の男女共同参画担当大臣会合を開催したボスキ政務次官のリーダーシップへの謝意と来年のカナダでの議論への期待が示された。
- ▶ 山下政務官からは、8人の政府代表で合意した事項を日本に持ち帰り、ジェンダー平等、女性活躍に向けて、更にアクセルを踏んでいく、今回の会合に参加した政府代表のうち、男性は私(山下政務官)だけであったが、ジェンダー平等の議論を行う場に男性が一人でも参加していることに意味があった、男性の働き方や家庭での役割が変わらなければ、女性の生き方やキャリアパスは多様化しない、各国とも、政府や企業が慣行を変えるよう努力しなければいけない旨発言した。

G 7 男女共同参画担当大臣宣言

Declaration of the G7 Meeting on Gender Equality

10

宣言のポイント

- 2017年5月26、27日にタオルミーナで開催されたG7首脳会議にて採択された「ジェンダーに配慮した経済環境のためのG7ロードマップ」で合意した施策や行動指針の実装、モニタリングにコミットする。
- 現存する男女間格差を縮小するために考え方、政策、文化に変化をもたらすため、すべての形態の女性に対する暴力と差別をなくすため、そして、G7諸国における男女間の平等を達成するために、「ジェンダーに配慮した経済環境のためのG7ロードマップ」にて示された質的・量的な目標・期日それぞれの達成に必要なあらゆる努力を講じる。

参考:

○ジェンダーに配慮した経済環境のためのG7ロードマップ (外務省HP)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pc/page3_002059.html

○G7男女共同参画担当大臣宣言(2017 G7イタリア・タオルミーナ・サミット公式HP(英語))

<http://www.g7italy.it/en/documenti-ministeriali>